

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0590
施設名	昭島ゆりかご第二保育園
施設所在地	昭島市田中町3-5-20
法人名	社会福祉法人ゆりかご会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・水の感触を楽しむ。

<テーマの設定理由>

季節感を味わうため。

2. 活動スケジュール

- ・水遊びを始めるにあたってテラス遊びを導入し始めた。(6月)
- ・水遊びや沐浴を始める。(7月 8月)
- ・残暑が残る秋口に水に触れる機会を持てるようにウォーターマットを作成し、室内やテラスにて水の冷たさや水が動く時の音に触れた。(9月 10月)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材】

たらい ボール ゴザ ビニールプール 圧縮袋 スポンコールや魚や細かい玩具

【環境設定】

- ・子どもたちが安全に遊べるようスペースの確保に配慮した。
- ・ゆったりとした雰囲気の中で水の気持ち良さや楽しさが味わえるように心がけた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・水を足したりして温度変化を味わった。
- ・水を怖がってしまう子どもには無理強いせず子どものペースに合わせ『気持ちいいね』『冷たいね』などと声を掛けながら様子を見て少しずつなれるように進めていった。
- ・水に慣れてくると子ども同士で玩具を使い水を掛け合ったり、手で水面を叩いては水しぶきを浴び驚いたりしていた。
- ・水の冷たさや水が動く時の音に触れた結果、ウォーターマット越しの水の音に耳を澄ませたり保育者がマットを揺らす動きを真似てジャブジャブと聞こえてくる音を楽しむ子どももいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・水遊びを始めるにあたり少しでも恐怖感を持たぬよう水遊びを行う場所でのテラス遊びを導入した。テラス遊びの楽しさを知っているので水遊びに切り替えても泣いてしまう子どもは殆どいなかった。ただ水に対して怖がってしまう子どももいたが慣れてくると伸び伸びと遊び自分で頭から水を掛けたりしてダイナミックに遊んでいる姿を見ることができよかった。
- ・最初は水の感触や冷たさを味わってもらうために制作したウォーターマットだったが、実際に導入してみると水の動きによって生まれる音に子どもたちが興味を示し遊びの一部になっていることに気がされた。